

みんなで育てる福祉のこころ



1人は万人のために 万人は1人のために



第640号

発行日 毎月20日
定価一部 15円

※会員の購読料は
会費の中に含む

(一社)佐賀県労働者福祉協議会 佐賀市神野東四丁目7番3号 TEL 0952 (32) 1243
ホームページアドレス : <https://sagarofuku.net/>

発行人 草場 義樹
編集人 待鳥 洋文

賀正



夜明け(有明海沿岸)
写真提供: 佐賀県観光連盟

2024年 あけましておめでとうございます。

旧年中は、労福協・各事業体の諸活動に対しご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本年も労働者福祉運動と自主福祉事業の基盤強化及び運動の継承を図るため鋭意努力してまいります。

皆さんと共に「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会の実現」に向かって前進していきましょう。



会 有田地区	会 藤津・鹿島地区	会 杵島・武雄地区	会 伊万里地区	会 唐津・東松浦地区	会 小城・多久地区	会 佐賀地区	会 神埼地区	会 鳥栖・三養基地区	監 事	理 事	常務理事	専務理事・事務局長	副理事長	理事長
長 山口	長 中山	長 平山	長 三原	長 武野	長 轟木	長 梅田	長 古賀	長 橋本	中 川	新 坂井	矢 夕部	待鳥 洋文	近藤 三千代	草場 義樹
弘	良純	憲	隆広	智宏	信秀	博文	敬宏	京介	広治	浩二	雅彦	教馬	啓二 雅彦	
									美保子	昭治郎	真也	博美	恭平	
									井手	吉原	吉田	江口	松尾	
									田中	吉田	江口	松尾	恭平	
									中川	吉田	江口	松尾	恭平	

2024年 年頭のごあいさつ



佐賀県労働者福祉協議会
理事長 草場義樹

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆さまとそのご家族におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、物価高騰に歯止めがかからず実質賃金が低下し続ける中、私たち生活者の環境は益々厳しくなっています。特に、年金生活の高齢者や低所得の子育て世帯などは家計の負担が厳しくなるばかりであり、これらによって懸念される格差と貧困、差別によって社会が大きく揺るがされることは絶対あってはなりません。

労働組合が取り組む2024春闘では、持続可能な賃上げが可能となるよう経済社会のステージ転換をはかるために、「価格転嫁、価格交渉、環境整備」を強く訴えていくとの方針が出されました。佐賀県労働者福祉協議会といたしましても、生活の安定・安心を

求め、「福祉運動」と「労働運動」を車の両輪として進めてまいります。そして、労働組合、生協、労働金庫、くみん共済coopと一体となって共助の輪を地域に広げ、SDGsがめざす、「誰一人とりのこさない持続可能な社会」や、中央労福協の2030年ビジョンで掲げている「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で安心して働きらせる持続可能な社会」の実現をはかってまいります。

本年の干支は甲辰(きのえたつ)。辰年は十干十二支の組み合わせによって5つの種類があり、前回の甲辰は60年前の1964年(昭和39年)でした。

1964年といえば記念すべき「東京オリンピック」開催の年であり、オリンピズムの目的は、「人間の尊厳保持に重きを置く、平和な社会を推進すること」にありました。世界中で紛争が続く中、何の罪もない子どもたちの命、家族、自由も奪われ続け、そこには「人間の尊厳」はありません。

本年の甲辰が「世界の平和な社会」に大きく寄与することや、皆さまにとって素晴らしい年となりますことを祈念申し上げ年頭のごあいさつといたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年 年頭のごあいさつ



労働者福祉中央協議会
会長 芳野友子

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は国民生活を一変させ、格差や貧困、社会の分断が深刻化し、コロナ禍以前から抱えていた日本社会の脆弱性が次々と浮き彫りになりました。感染症法上の位置付けが5類に移行され社会経済活動の回復は進みつつありますが、ただ単にコロナ前の状態に戻すのではなく、更により良い社会とすべく、公的セーフティネットの強化を継続して求めていく必要があります。中央労福協では、コロナ禍で生活に困難を抱える人たちやその相談・支援活動を応援するための「ろうふくエール基金」を継続してこられた事は、ひとえに皆さまのご協力があってのことです。心より感謝申し上げます。

さて、中央労福協では「高等教育費の漸進的無償化と負担軽減」に向けて、この間、取り組みを進めて

きましたが、今後、国民的合意形成をどのようにはかるのか、もう一段レベルアップした運動の展開が求められています。また、地域共生社会を構築する取り組みとして、地方労福協を中心として取り組まれております、ライフサポートセンターにおける活動の重要性は、これまでと変わることはありません。

しかし、昨今の物価高の影響は生活者を直撃しており、子ども食堂に代表されるように、地域に寄り添った直接的な支援を行う活動が今後ますます必要とされます。労働者福祉運動と共助の輪の拡大に向け、労働団体・事業団体・地方労福協が、それぞれの立場で取り組んでいくことが求められます。中央労福協は引き続き、その結節点の役割を果たすとともに、社会的連帯経済(SSE)の担い手として、NPOや市民団体、社会的企業とのつながりを深めていきます。

労福協の理念にあります、すべての働く人の幸せと豊かさをめざした、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会に向け、これまで以上に皆さまのお力をお寄せいただくことをお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

2024年 年頭のごあいさつ



九州労働金庫佐賀県本部
本部長 井手雅彦

明けましておめでとうございます。みなさまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。私も九州ろうきんにおきましては、本年も

働くみなさまの夢と共感を創造する福祉金融機関としての使命を果たすとともに、金融業界のますます激化する厳しい競争環境のもと、預金・融資とも苦戦しつつも役職員一同一致結束して、会員・組合員の生活の維持・向上に向け邁進する所存です。本年もどうぞ変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

さて本年は十干十二支でいうと甲辰(きのえたつ)年です。「甲」は十干の最初の文字で、物事の始まりや成長を意味します。また、「辰」は十二支で唯一の空想上の生き物で、「強運」や「権力隆盛」などを表すとされています。これらのことか

ら、昇り竜のごとく金融市場の成長が期待でき、日経平均株価は4万円越えもあり得るとの強気の予想も聞かれ、過去の辰年の実績をみても最もパフォーマンスが良い干支だとデータが示しているそうです。ちょっと、この縁起に乗っかるのもいいかもしれません。

しかしながら、現在の状況は株価こそ、そこそこの高値を維持していますが、記録的な円安や止まることを知らない物価高の影響で家計は悲鳴をあげています。昨今、賃金も上昇はしていますが、この急激な物価高には追いつけていない状況で、現在、日本はスタグフレーションの只中にあると言わざるを得ません。

九州ろうきんは、このように取り巻く情勢が厳しい時だからこそ、福祉金融機関としての役割を果たす時だと考えます。すべての会員・勤労者・生活者の期待や信頼に応えられるよう役職員一丸となって、さらに「ろうきん運動」の推進に取り組みたいと思います。本年がみなさまにとって健康で幸せに暮らせる素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

2024年 年頭のごあいさつ



くみん共済coop佐賀推進本部
本部長 宮崎啓二郎

新年、明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。あわせて「くみん共済coop佐賀推進本部」の事業推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年、佐賀労済(佐賀県労働者共済生活協同組合)は創立60周年を迎え、記念事業を開催し、多くの方々にご参加いただきました。この事業につきましては、2年間の継続事業として、今年も開催します。映画上映や防災イベントの出展、ミュージカルの開催など計画していますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

近年の自然災害は多発化・大規模化の傾向にあり、特に台風・集中豪雨をはじめとした風水害は、毎年多くの被害をもたらしています。

自然災害は、それ自体を止めることはできませんが、十分な備

えを行う事で被害を防いだり、減らしたりすることはできます。また、被災後の復旧に備えることも大切です。

くみん共済coopでは、「人々の暮らしに必要な安心」を提供し、共済制度のさらなる充実に努めてまいります。今年も皆さまの暮らしにしっかり寄り添い、「たすけあいの輪」を広げていきたいと思ひます。

昨年は、4年前に発生した新型コロナウイルスの感染拡大も完全な終息とは言えないまでも、ようやく一定の収束がみられ、コロナ禍以前の社会生活に戻ってきました。皆さまの周りでも、様々なイベントや行事が行われ、多忙な日々を過ごされたことと思ひます。

今年の干支は甲辰(きのえたつ)。竜が大空を飛ぶように飛躍の年になるよう願ってやみませんが、物価高騰、原材料不足、円安、人手不足、など私たちを取り巻く情勢はけっして楽観できません。また、ウクライナ侵攻、中東での紛争が人々に大きな憂いと不安を与えています。一刻も早い終息と平和で安心できる世界になることを切に願ひます。

むすびになりますが、今年一年が皆さまにとって素晴らしい一年になることをお祈り申し上げますとともに、くみん共済coop佐賀推進本部への昨年以上のご厚情を賜りますことをお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

2024年 年頭のごあいさつ



佐賀県生活協同組合連合会
会長 福井健一

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ロシア・ウクライナ戦争は約2年が経過しようとしています。両国とも継続の構えから、戦争が長く続くことで、国際社会にとっても従来の米中対立に加え、民主主義諸国とロシアとの分断による安全保障・政治・経済への影響が大きくなっています。ロシアへの経済制裁は国際的な経済依存が低下し、結果的に、エネルギーや食糧価格等の高騰などインフレの原因となっています。また、パレスチナイスラム組織ハマスとイスラエルの紛争では、多くの市民が戦闘の犠牲となっています。

このような世界的な政治的・軍事的緊張の高まりから、政府は防衛三文書改定や防衛費を5年間で総計43兆円とするなど、日本の安全保障政策の見直しが進むことに対して注視する必要があります。

世界の人々の命・生活・尊厳に対する脅威となり、2030年に向けたSDGs達成のための取り組みの遅れが懸念されます。国際社会に呼びかけられているように、誰一人取り残さない社会の実現のためには、世界全体でSDGsの達成に向けて取り組む必要があり、あらためて、私たち一人一人の行動実践が不可欠です。

昨年5月より新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行し、法律による行動制限がなくなりました。国内の社会・経済活動は一気に回復傾向にありますが、人流が活発化する中で、クラスターの発生や夏以降インフルエンザの流行など感染症への対策は継続しています。

また、記録的なインフレによる生活必需品の価格高騰が続いており、特に消費者物価指数は食品やガソリンなどが押上げられ、12ヶ月連続で前年上昇率3%を上回る状況になっています。一方で、春闘により現金給与総額は上昇していますが、10月の実質賃金は前年比2.3%減少し19ヶ月連続のマイナスで物価上昇に賃金の伸びが追いつかず、私たちのくらしは厳しい状況が続いています。

私たち協同組合は、その事業と活動を通してより多くの皆さんと協同し、「助け合い分かち合う協同組合の価値」を広げることを実践していきます。今後も、くらしを取り巻く様々な環境は厳しさを増します。全国生協・事業連帯での事業技術革新、県内生協との連携強化を図り、組合員のくらしに寄り添い支えることを目的に、生活協同組合としての役割を更に発揮して参ります。

本年も、どうぞよろしくお祈りいたします。

佐賀県労働者福祉協議会「第66回臨時総会」を開催

12月18日(月)に佐賀市「自治労会館」において、佐賀県労福協「第66回臨時総会」を開催し、理事の辞任に伴う新理事の補充選任を決定しました。役員、代議員、28名出席のもと議長に江口昌宏代議員を選出し議事が進められました。第1号議案の「理事の補充選任について」では、理事候補者の提案を行い全会一致で承認されました。その後、理事会を開催し「常務理事の補充選任について」を提案し、矢ヶ部教馬氏の常務理事への就任が決定しました。



新たな役員体制が確立し、労働者福祉運動の強化・発展を目指すことを確認し、第66回臨時総会を閉会しました。

新任役員 及び 退任役員

新任役員
【常務理事】矢ヶ部 教馬(連合佐賀)
【理 事】井手 美保子(佐賀県生活協同組合連合会)

退任役員
【常務理事】高祖 和彦(連合佐賀)
【理 事】前田 清人(佐賀県生活協同組合連合会)

九州ろうきんからのお知らせ

佐賀県立佐賀西高等学校で金融教育の授業を実施しました

九州ろうきんでは、社会貢献活動の一環として高校や大学など学校での消費者金融教育を実施しています。12月4日(月)より、佐賀県立佐賀西高等学校における1年生の家庭科の授業の中で、生活スキルとして必要な金融リテラシーを身に付けていただけるよう「マネートラブル」をテーマに授業を行いました。また、金融業務にも関心をもってもらうと授業の合間で、ろうきんや銀行業務の紹介と、模擬紙幣で「札勘」体験を行いました。受講した生徒からは「今まであまり実感がなかったが自分ももうすぐ18歳になるので、マネートラブルに巻き込まれないよう知識をつけようと思った」「自分で判断できる年齢が近づいていることに緊張感を持たなければならない」「分からないことが少しわかり、嬉しかった」との感想があり、参考になったとの多くの声をいただきました。また、今後聞いてみたい話として「資産運用」や「銀行業務」、「ろうきんについて」等の意見があり、金融リテラシー向上の重要性を感じるとともに、ろうきんや金融業務への関心を持っていただいたことを嬉しく思いました。金融教育とは、「お金や金融のさまざまな働きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きつつ、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育」のことです。2022年4月から民法改正により成年年齢が引き下げられた他、これまで認められていた未成年者取消権を行使できなくなることからも若年層の金融リテラシー向上に関するニーズは高まっています。



九州ろうきん杯第45回佐賀県U-12サッカー選手権大会が開幕しました!

佐賀県本部では、社会貢献活動の一環として青少年の健全育成に携わることを目的に、佐賀県U-12サッカー選手権大会に協賛しています。今年は72チームが参加し、12月9日(土)小城市芦刈地域交流センター「あしぱる」において開会式が行われ、3年ぶりに大会に参加する選手も交えての開会となり、各チーム代表者数名と監督、保護者等が参加し、久しぶりに活気にあふれた開会式となりました。12月17日(日)から各地で熱戦が繰り広げられます。

